熱戦！好プレー続出！決勝トーナメントダイジェスト

決勝トーナメント初戦

鹿児島市職労 VS 島根県職県庁
2 ①21−16 ②14−21 ③21−19 1

鹿児島が第1セット、島根が第2セットをとり、両者一歩も譲らない戦いで迎えた第3セットは点差が開かない試合展開となりましたが、常に鹿児島が数点リードし最後にブロックポイントを得て激戦を制しました。

帯広市労連 VS 太田市職労
0 ①18−21 ②17−21 2

第1セット序盤からシーソーゲームとなり、どちらも譲らない展開。フェイント攻撃を起点に太田が振りきり、第2セットも中盤までのもつれる展開を、軽快なトスワークとスパイクで太田が帯広のリズムを崩し激戦を制しました。

島根県職出雲 VS 旭川市職労
2 ①21−8 ②21−4 0

2階スタンドから遠来の北海道や島根の応援団が声援を送る中、島根のレフトからのスパイクが決まり、レシーブも光って得点が続きました。旭川がスパイク打つも、島根は粘り強くレシーブを続け得点につなげました。総合力で勝る島根は多彩な攻撃で勝ちあがりました。

高畠町職労連 VS 香川県職連合
0 ①6−21 ②15−21 2

香川が第1セットの序盤からリードし流れをつかみ逃げ切りました。第2セットの中盤は高畠がリードし粘りをみせましたが、香川がスパイクや移動攻撃による揺さぶりで流れを変え勝利を得ました。

沼津市労連 VS 松本市職労
0 ①10−21 ②12−21 2

常勝松本と9回目出場の沼津との対戦は、松本がセンタークイックと、オープン攻撃で沼津のブロックを上手くかわし、連続得点すると流れは松本に。左右の両エースの強烈なスパイクとサーブポイントなど、確実に得点を重ねた松本が危なげなく勝利しました。

徳島市職労連 VS 真庭市職労
2 ①21−12 ②21−14 0

岡山県代表で初出場の真庭が21回出場の徳島を相手に果敢に挑んだ試合でした。真庭はスパイク、ブロックで得点、追いつくも徳島が先行。力の差があるようにはなく、一進一退の試合が続きましたが、実力の差は如何ともしがたく、善戦するも徳島に惜敗しました。

札幌市職連 VS 鹿児島市職労
2 ①21−10 ②21−6 0

札幌は目立ったミスもなく序盤から安定したボール運びで次々と高く、力強いスパイクを決め得点を重ねていきました。前回優勝チームらしい圧倒的な強さをみせ鹿児島の反撃を許さずストレート勝ちとなりました。

松阪市職 VS 豊中市職
0 ①19−21 ②12−21 2

前回準優勝豊中のどこからでも飛んでくる攻撃に対し、笑顔の素敵な松阪は全員バレーで粘り強さを見せ、豊中が僅差でリードする展開に。豊中15番の決定的なスパイクで第1セットを先制すると、第2セットは豊中が得点ラッシュで勢いをつけて逃げ切りました。

大阪市職 VS 那珂市職
2 ①21−19 ②21−16 0

大阪のスパイクが那珂のブロックに捕まるなど、初出場ながら経験豊富な大阪と互角に戦い、序盤一進一退の好ゲームを見せました。大阪の多彩な攻撃で徐々に得点が広がっていきましたが、那珂もスパイクを決めるなど、一時逆転しました。その後優勢にゲームを進め、接戦を制した大阪が準々決勝への切符を獲得しました。

長尾賞

帯広市労連 河尻 茉帆

島根県職県庁 與倉 和子

高畠町職労連 吉田 咲穂

旭川市職労 立浪 知美

真庭市職労 佐山布久江

沼津市労連 小池 純江

この他の受賞者は次号でお知らせします。

準々決勝

札幌市職連 VS 香川県職連合
2 ①21−12 ②21−6 0

札幌は序盤から次々と強烈なスパイクを香川に打ち込んでいきました。香川は必至にボールを拾いに行きましたがボールをつなげることができず、札幌が終盤まで勢いを保ったままストレートで準決勝進出を決めました。

島根県職出雲 VS 徳島市職労連
2 ①21−12 ②21−14 0

開始早々から長いラリーが続く場面が多く見られましたが、徐々に徳島が得点を重ねていき、一進一退の攻防が続く好ゲームとなりました。終盤島根がサーブ、スパイク、ブロックで得点、このセットを奪取し、セットカウント2対0で、この大会1番乗りで準決勝進出を決めました。

太田市職労 VS 豊中市職
0 ①17−21 ②16−21 2

エースが怪我で途中退場し、大黒柱を欠いた豊中は、フォーメーションを変更。一進一退の攻防となりましたが、豊中はサーブやスパイクが冴え攻撃のリズムを取り戻し、追いすがる太田を振り切り先制。第2セットも取られたら取り返す展開で、終盤に至るまで勝敗が読めない展開となりましたが、最後は豊中が粘り勝ちで試合を制しました。

大阪市職 VS 松本市職労
0 ①16−21 ②15−21 2

序盤、松本のサーブで大阪はリードを許しました。松本のクイック攻撃も決まりさらに得点を追加しました。大阪のタイムアウトで流れは大阪に傾き、一進一退の攻防が続きました。松本が4点リードしたところでタイムアウトを取りましたが流れは変わらず、最後に松本のクイックで準決勝進出が決まりました。